

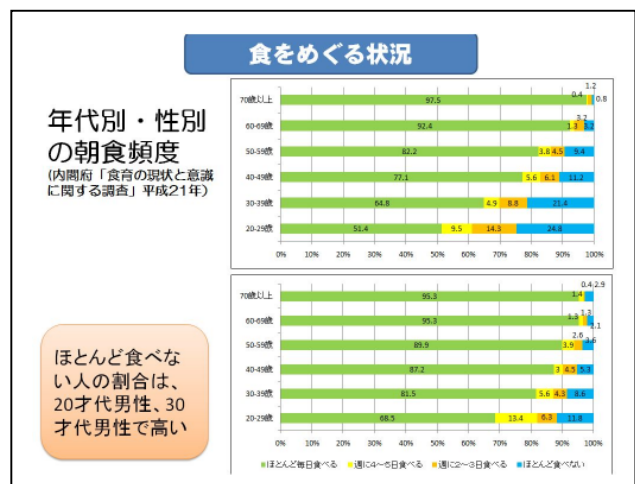
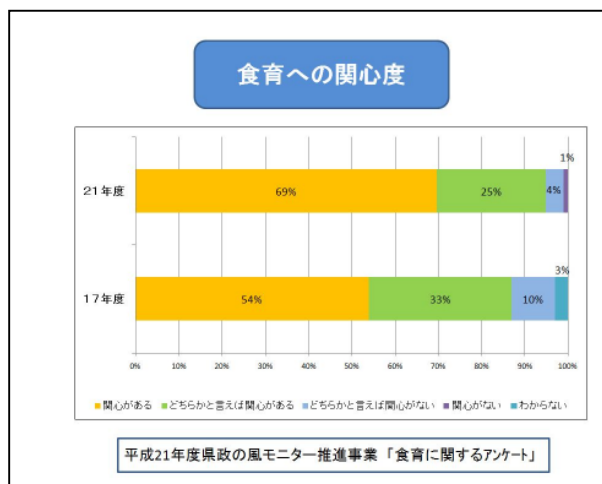
平成22年度第1回大分県食育推進会議

日 時：平成22年6月30日（水）13：30～15：30
場 所：大分県土地改良会館 5階 大会議室

～次 第～

- 1 大分県食の安全確保推進本部食育専門部会長
生活環境部理事兼審議監 あいさつ
- 2 議事
 - (1) 平成21年度食育関連事業の実施状況及び
「大分県食育推進計画」数値目標の達成状況について
 - (2) 平成22年度食育関連事業について
 - (3) 「大分県食育推進計画」見直しについて

「大分県食育推進計画」見直し説明資料より



《主な意見》

平成21年度、22年度食育関連事業並びに「大分県食育推進計画」について

- 直販所の運営力強化という中で、農薬や料理の仕方もあるが、健康情報というのも直販所の運営・強化という部類に入ろうかと思うので、併せて直販所の運営力強化の事業は他課が担当と思うが、併せてそういうものもやっていてはどうかと思う。
- 食品表示モニターの委託があるが、こういうモニターでは、同じような消費者団体がいつも出ていてなかなか底辺まで情報が行き渡らないという課題があると思う。出前講座にしても人数が集まらないで、どこかの消費者団体に動員して来てもらうということでは、本来の目標が達せられないと思うので、どういう人達に集まってもらって実施するかという部分を工夫を何か考えていただきたい。
- 平成12年より保護者と子どもの主食であるお米を自給している。今年からは、あいがも農法を取り入れ、安心なお米を作っているが、この中で気になっていることが水の問題。田んぼの水を遡って行くと、上流には、化学薬品の工場があったり、浄化センターがあったり、台所、洗面所、洗濯機の排水がそのまま川に入る。田んぼや野菜などの食品を作る一番大切な水というものがどのくらい安全なのかを調べていただきたい。
- e-na おおいた21年度現在の目標面積が相当離れているが、それが今年度達成できるか。また、次年度の計画にどのくらいの数値目標を入れるのか。
- 学校における食に関する指導の充実が学童・思春期における食育の推進になると幅が広くなりすぎて、かえって意味合いが薄くなるのではないか。学校給食というのはとても大切で、子どもたちが食べたことのないものを学校給食で食べる機会を得たり、栄養士さんも地産地消を意識して、種類も考えた献立をたてていたりと今の食生活の乱れを学校給食の中で補われているのではないかと思うので、あえてこだわった。
- 学校給食のない高校生や大学生に対する施策が第1期の計画の中では、全くないように感じていた。施策としては、触れられていない状況なので、具体的な施策を入れていただければと思う。
- 第4章の5番「ヘルシーな外食・中食の推進」ということで22年度の計画の中にも入っていたが、実際できると非常によいと思うが、外食産業は、作った方がいいが、売れないとどうか。手間がかかると価格が上がり、実際によいことをやっても買う人がいないという展開になりそう。それをやっている外食産業に何かメリットを作ってはどうか。表彰される、シールをはるなどしてはどうか。